

新潟市代表団 東アジア文化都市2015青島市（閉幕式出席）
中国・青島市訪問報告書

新潟市議会議長 高橋 三義

12月29日から12月31日までの日程で、篠田市長をはじめとする新潟市代表団の一員として中国山東省の青島市を訪問し、「東アジア文化都市2015青島市」の閉幕行事に出席してきましたので、その概要等について報告します。

1 訪問日程 平成27年12月29日（火）～12月31日（木）

| | |
|-----------|--|
| 12月29日（火） | 新潟空港出発 （韓国・仁川空港経由） 中国・青島流亭空港到着 |
| 12月30日（水） | 市内視察（青島オリンピックヨットセンター、 青島彫像芸術館、青島都市計画展覧館） 青島市党委員会、青島市政府代表と会見 「東アジア文化都市」シンポジウム 市内視察（青島海産博物館） 「東アジア文化都市」閉幕式・芸術公演鑑賞 |
| 12月31日（木） | 青島流亭空港出発 （仁川空港経由） 新潟空港到着 |

2 概要及び所見

「東アジア文化都市」は、日中韓文化大臣会合の合意に基づき、日中韓3か国で文化芸術による発展を目指す都市を選定し、多様な文化芸術関連イベントなどを実施する事業として、2014年に始まりました。初年（2014年）、日本では横浜市が選定されました。

新潟市は、中国・青島市、韓国・清州市とともに2015年（平成27年）東アジア文化都市に選定され、1年を通じて、新潟市は独自文化を発信するとともに、中国・韓国との文化・芸術交流事業を実施してきました。

3都市それぞれが開幕イベント（2月～3月）、閉幕イベント（11月～12月）をはじめとした数多くの交流事業を開催し、相互参加することで文化を通じた連帯感の強化や新たな文化の創出を図ってきましたが、11月23日に開催された新潟市でのクロージング（閉幕式典）では、1年間にわたる盛大な「東アジア文化都市2015新潟市」イベントの締め

くくりを、参加いただいた青島市、清州市からの代表団・文化芸能団の皆さんからも一緒に盛り上げていただき、成功裡に終了することができました。

12月23日に韓国・清州市で閉幕、そして12月30日の中国・青島市での閉幕式が「東アジア文化都市2015」の最終イベントとなりました。

○ 青島市党委員会、青島市人民政府代表との会見

12月30日、新潟市代表団は青島市党委員会及び青島市人民政府代表を表敬しました。

| | | |
|--------|-----|--|
| (青島市側) | 李 群 | 中国共産党山東省委員会常務委員、青島市委員会書記 |
| | 王魯明 | 中国共産党青島市委員会常務委員、秘書長 |
| | 憲新安 | 中国共産党青島市委員会常務委員、宣伝部部长 |
| | 欒 新 | 青島市人民政府副市長 |
| | 李 明 | 中国共産党青島市委員会宣伝部副部長、 青島市人民政府文化広電新聞出版局局长 |
| | 李文革 | 青島市人民政府文化広電新聞出版局副局長 |
| | 崔衛東 | 青島市人民政府外事弁公室主任 |

李群書記は、「3都市の文化交流により相互理解を深めることができました。本日の閉幕式で事業は終了しますが、これからは市民の友情の新しいスタートであり、3都市の友好交流、市民間の友情がますます深められると確信しています。」と述べられました。

篠田市長からは、「青島市と新潟市との交流は、新潟市議会が橋渡し役となって始まりました。新潟市議会と青島市人民代表大会とは交流に関する覚書に調印し、交流を深めていきます。」と紹介をいただきました。そして「東アジア文化都市事業により、さまざまな芸能団・芸術団と交流することができ強い絆をつくることができました。本日の閉幕式を、新しい交流のスタート地点として、来年以降も大きく交流を進めていきたい。」と話し、和やかな会見となりました。

○ 市内視察

主催者の案内により、青島市の主要施設を視察しました。

・「青島オリンピックヨットセンター」は、浮山湾ほとりにあり、2008年第29回北京オリンピック、第13回パラリンピックのヨット競技が行なわれ、その後も「ヨット都市」として国際ヨットレースを数多く誘致している世界的なヨット競技の試合会場です。



- ・「青島彫像美術館」は、海に面した室内彫像美術館と室外彫像公園から構成され、中国の国内外から集めた有名な彫像作品が展示されており、彫刻芸術を発信する施設です。
- ・「青島都市計画展覧館」は、青島市の都市整備について、過去から現在までの発展経過、そして未来への展望を巨大なジオラマやスクリーン映像を交えた展示施設であり、青島市が将来大きく発展することを感じさせる内容でした。
- ・「青島海産博物館」は、1932年にオープンし、多数回の改増築によって、現在の「幻想水母宮殿」、「海洋生物館」、「海獣館」、「淡水生物館」と「青島海底世界」の5つの分館から構成される施設となりました。年間200万人が訪れている青島市を代表する観光名所となっています。



(写真) 都市計画館を視察

○ 東アジア文化都市シンポジウム

青島市、新潟市、清州市の順で各都市代表から1年間の取り組みや成果について発表が行われ、今後も継続的に交流と友好を促進することを共同で宣言しました。



○ 閉幕式、芸術公演

閉幕イベントでは、青島市の演芸集団歌舞劇院らによる舞踊をはじめとした中国の伝統芸能や雑技団などの多彩な公演が披露されたほか、新潟市と韓国・清州市の芸能団も出演し、2015年東アジア文化都市のまさに集大成となる、3都市芸能団の魅力あふれる舞台が披露され、同じステージに立った3都市の芸能団同士の交流も図られました。

今回、新潟市の芸能団としては、全国大会での入賞実績がある「新潟医療福祉大学ダン

ス部」と和楽器ユニット「音魂^{おとたま}」が同行し、この芸術公演に出演しました。

新潟医療福祉大学ダンス部の皆さんは新潟市の風景や活気に満ちた人々の映像を背景にした躍動感あふれる踊りを披露し、音魂の皆さんは三味線、和太鼓、篠笛による迫力ある演奏で観客を魅了していました。

東アジア文化都市 2015 の締めくくりに相応しい、盛大なイベントでありました。

○ 総括

青島市と新潟市との交流は、2002 年の日中友好促進新潟市議会議員連盟の訪問が発端となっています。以来、新潟市議会と青島市人民代表大会との交流が始まり、2009 年には青島市において「交流に関する覚書」を交わしています。

両市は相互訪問により友好関係を深めるとともに、航空路拡大や経済、観光関連などの分野で交流を継続してきました。

このたびの「東アジア文化都市 2015」事業は、青島市においても注目度が高く、メディアを通じて、新潟市の文化や魅力が大いに発信されていました。

新潟市・青島市・清州市の3都市が、文化交流を通じて相互理解を深め、新たなネットワークを構築できたことは大きな成果であると感じています。

昨年は「北東アジア地区地方議会議長フォーラム」を新潟市で開催し、文化交流をテーマに意見交換を行なって次回のフォーラム開催へと継続しているように、「東アジア文化都市」が一時的なイベントで終わることなく、今後も東アジアを中心に文化交流が継続・発展するよう、議会としての役割を果たしていかなければなりません。

今回の訪問団に参加させていただいたことに感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。